

平成22年2月26日

## ドライカップ接続料金等の補正申請について

NTT東日本は、平成22年度に適用するドライカップ等の接続料金について、平成21年12月9日（水）に接続約款変更の認可申請を行いました。平成22年2月22日（月）の情報通信行政・郵政行政審議会答申を踏まえた総務省からの要請に基づき再算定し、本日、総務大臣に対し補正申請を行いました。

### 1. 概要

ドライカップ等のメタル加入者回線に係る接続料に関し、上部（地下）区間におけるメタル設備に係る未利用芯線相当のコストについて、局外RT※に收容されている加入者回線とメタル設備のみを用いる加入者回線に関する稼働回線数比に基づき按分し再算定しました。

※ RT (Remote Terminal) : メタルケーブルに收容する電話等の通信を、加入者交換機まで光ファイバで伝送するために多重化する装置。

### 2. 接続料金案

別紙のとおりです。

### 3. 実施時期

総務大臣の認可を得た後、平成22年4月1日（木）から適用します。

本件に関する問い合わせ先

NTT東日本 経営企画部

Tel 03-5359-3960

E-mail kikakur@sinoa.east.ntt.co.jp

(別紙)

サービス別の主な接続料金案

(1) ドライカップの接続料金

区 分		今回補正申請した料金	平成21年12月9日に申請した料金
平日昼間帯保守の場合	1回線ごとに月額	1,394 円	1,416 円

(注) 回線管理運営費(1回線ごとに月額41円)を含んでいます。

(2) 接続専用線の接続料金

区 分			今回補正申請した料金	平成21年12月9日に申請した料金
一般専用	3.4kHz	1回線ごとに月額	7,064 円	7,061 円

(注) MA内の場合

(3) 公衆電話の接続料金

区 分		今回補正申請した料金	平成21年12月9日に申請した料金
公衆電話発信機能	1秒ごとに	0.9064 円	0.9060 円
デジタル公衆電話発信機能	1秒ごとに	0.5334 円	0.5332 円

(参考)

平成20年度の利用者向け料金と接続料金の水準の比較

(単位:億円)

サービス	①利用者 料金収入	②接続料金 相当	③差分 (①-②)
加入電話・ISDN基本料	5,343	3,570	1,773
加入電話・ISDN通話料	860	425	435
公衆電話(デジタル公衆を含む)	35	97	▲ 62
番号案内	51	56	▲ 5
メガデータネット	48	42	6
Bフレット	2,350	1,116	1,234
フレットADSL	754	187	567
フレットISDN	55	19	36

(注1) 接続料金相当は、各サービスで使用する設備ごとの需要数に今回申請した接続料金を乗じて算定しております。

(注2) 加入電話・ISDN基本料の接続料金相当には、回線数の増減に応じて当該設備に係る費用が増減するものに係る費用(NTSコスト)の673億円は含んでいません。